

基本機能に追加して Type S / Type P では、以下の機能がご利用いただけます。

S Type S Type Sをご利用いただけるお客様

成年後見システム Type Sには公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート様の会員支援システムである「LSシステム」への連携機能が装備されておりますため、司法書士様・司法書士法人様にご利用は限られます。

LSシステム連携機能装備(平成30年改訂LSシステム報告様式に対応)

成年後見システムで入力した情報を元に電子報告データを作成し、LSシステムに反映することができます。LS報告情報タブでは、LSシステムに報告する際に必要となるLS報告固有の情報を登録することができます。あらかじめ成年後見システムに登録してある基本情報、財産情報、収支予定、

定、出納帳などとあわせてLSシステムへの報告データを自動的に作成することができます。また、LS報告情報タブでは案件毎にLSシステムから通知される様々な案件通知等を登録しておくことができます。

※LSシステムは(公社)成年後見センター・リーガルサポート様の会員支援システムの名称です。



報告データの一元管理

「LS報告管理」画面ではLSシステムに報告を行う案件を一覧上で管理することができます。一覧では各案件の報告データの作成状況や次回の報告予定日を確認することができます。報告期間をあらかじめ設定しておくことにより報告の予告通知を行うアラート機能も装備しています。また、案件内ではLSシステムへの報告データと添付書類を一緒に保管することができますので、報告をする際も簡単に添付書類を見つけることができます。



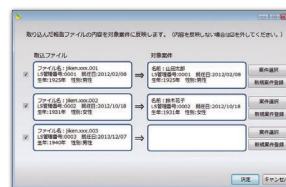
< LS報告管理画面 >

LSシステム業務支援機能との連携機能

成年後見システムに登録している案件概要情報を転送したり、財産情報、出納帳情報とLSシステムの記帳情報を双方向に同期することができます。LSシステムとのシームレスなデータ連携が可能です。

報告データ取込機能

LSシステムから出力した報告済データを成年後見システムに取込むことができます。新しく成年後見システムを利用される際にご活用いただけます。



< 案件割り当て画面 >

P Type P Type Pをご利用いただけるお客様

成年後見システム Type Pのご利用は権利擁護センター「ばあとなあ」及び「ばあとなあ東京」への成年後見活動報告様式が装備されております(※)ため、都道府県社会福祉士会会員様に限られます。

権利擁護センター「ばあとなあ」「ばあとなあ東京」への成年後見活動報告様式

(社)日本社会福祉士会様よりご提供いただきました様式に基づき、権利擁護センター「ばあとなあ」への成年後見活動報告書を装備しています。その他、「ばあとなあ東京」への成年後見活動報告書を装備しています。

成年後見(監督)活動報告書では累計件数および現在の活動状況が自動的に集計されて表示されます。また、個別報告においては報告者の受講者番号・都道府県士会・氏名、成年被後見人のケース番号・性別・年齢・家裁・審判確定年月について、利用者の登録情報や成年被後見人の基本情報から自動反映します。さらに、出納帳にて後見等支払報酬を登録している場合は直近の付与額の月額を自動計算して表示します(個別報告1,2のみ)。

- <「ばあとなあ」報告書類>
- 個別報告1-1～4(成年後見人等)様式第4号
 - 個別報告2-1～3(成年後見監督人・任意後見監督人)様式第4号
 - 個別報告3-1～3(任意後見人等)様式第4号
 - 名簿登録申請書(更新申請)及び成年後見(監督)活動報告書 様式3,1等

- <「ばあとなあ東京」報告書類>
- 個別報告1-1～4(成年後見人等)
 - 個別報告2-1～3(成年後見監督人・任意後見監督人)
 - 個別報告3-1～3(任意後見人等)
 - 個別報告4-1～3(未成年後見人)

※令和元年12月時点では、「ばあとなあ」報告様式は「平成25年2月報告様式」を装備しています。「都道府県ばあとなあ」への報告様式は「ばあとなあ東京」(令和元年8月報告様式)様式を装備しています。